

pL^AT_EX ニュース 第5号

1999年4月発行

作成者： 中野 賢 (<ken-na at ascii.co.jp>) & 富樫 秀昭 (<hideak-t at ascii.co.jp>)

1 この文書について

この文書は、pL^AT_EX 2_ε<1999/04/05>版について、前回の版(<1998/09/01>)からの更新箇所をまとめたものです。それ以前の変更点については、plnews*.tex や Changes.txt を参照してください。L^AT_EX レベルでの更新箇所は、L^AT_EX に付属の ltnews ファイルを参照してください。

2 前バージョンからの修正箇所

- 和文デフォルトフォントを変更しても、文書の先頭では反映されないのを修正した(ありがとう、山本@理科大さん)。
- \ コマンドにオプションを付けた場合、その後に余計な空白が入ってしまうのを修正した(ありがとう、鈴木@京大さん)。
- L^AT_EX<1998/12/01>に対応した。

3 フォーマットファイル作成時の注意

現在の pT_EX では、8 ビットコードの連続を 16 ビットコードと認識してしまう場合があります。そのため、フランス語やキリル文字などの 8 ビットコードが連続するハイフンパターンはまず使えせん。例えば cmcyralt パッケージでは、途中でつぎのようなエラーになります。

```
(/usr/local/share/texmf/tex/latex/contrib/
other/cmcyralt/rhyphen.tex Russian hyphenation
! Bad \patterns.
1.107 . え
```

2

?

このときは、“?” のプロンプトに対して “x” で終了してください。残念ながら、このハイフンパターンを pT_EX で利用することはできません。

そこで、hyphen.cfg を用意して、不用意に他のハイフンパターンを読み込まないようにしてあります。詳しくは README2.txt をご覧ください。

4 その他

pT_EX や pL^AT_EX 2_εに関する最新情報は、pT_EX ホームページ

<http://www.ascii.co.jp/pb/ptex>

より、入手することができます。

バグ報告やお問い合わせなどは、電子メールで

www-ptex@ascii.co.jp

までお願いします。